

風力発電

地球温暖化防止の一環として、化石燃料に依存しない自然エネルギーを利用した風力発電に対して、最近期待が高まっているようです。東京湾の臨海部では、既に稼働している風力発電のほかに、大型風力発電を建設するプロジェクトが進行中で、発電状況などを実際に見て学べる施設が併設されるようです。

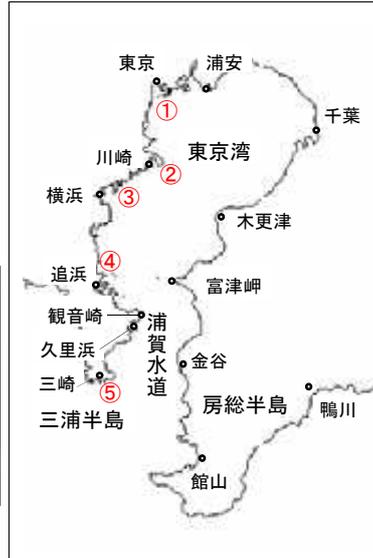
一方、一般家庭向けの小型風力発電は、風切り音を極力小さくし、発電量を効率よく安定して供給できるような改良が進められ、自分で組み立てるタイプや太陽光発電パネルを併用したハイブリットタイプなどが商品化されています。(価格30万～100万円ぐらい)

時代の追い風を受けて、大きく回り始めました。



三浦市宮川公園の風力発電

▼東京湾臨海部の稼働中及び計画中の主な風力発電▼



①東京都（2003年完成）
東京港防波堤内側埋め立て地
2基 最大発電出力1700KW

②川崎市（2005年完成）
川崎区浮島町公園
3基 最大発電出力12KW

③横浜市（2006年完成）
神奈川区瑞穂ふ頭
1基 最大発電出力2000KW

④三菱重工業（2005年完成）
金沢区幸浦金沢工場
1基 最大発電出力2400KW

⑤三浦市（1997年完成）
宮川町宮川公園
2基 最大発電出力800KW

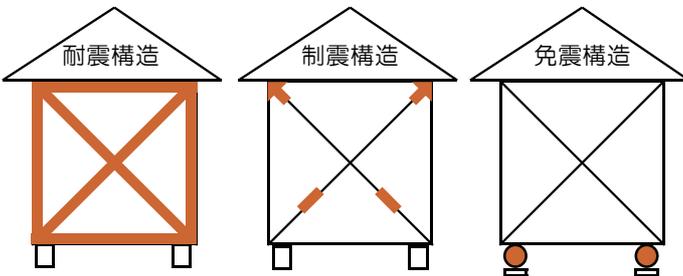
耐震補強工事

一般的に地震による建物の揺れを抑えようとするには、「耐震」「制震」「免震」の3つの構造があります。耐震構造は、躯体を補強して、地震の揺れをそのまま受け止めて、揺れに耐える構造、制震構造は、躯体に組み込んだ弾力性のあるダンパーで柔らかく受け止めて、揺れを制する構造、免震構造は、建物と基礎の間に設置した積層ゴムやボールベアリングで揺れを免れるようにかわす構造です。

最近では、制震、免震構造が、ビルやマンションだけに限らず、一般住宅にも取り入れられています。

また、多くの自治体が木造住宅の耐震診断や耐震補強工事の費用を補助する制度を設けています。その利用率は極めて低いのが現状のようですが、阪神大震災の犠牲者のうち約90%が家屋や家具などの倒壊による圧死であることを考えると、耐震補強工事を実施して、被害を最小限に抑えるよう、減災を心がけることが大切なようです。

▼建物の揺れを抑える構造▼

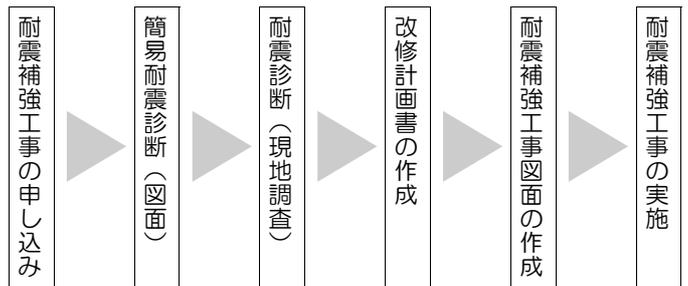


▼建物の耐震補強に関する自治体の補助金制度▼

お問い合わせ先	補助内容
横須賀市・建築指導課 046(822)9530	改修工事費用の1/2まで補助する。 (上限50万円)
横浜市・建築局住宅部 045(671)2943	世帯の所得に応じて4段階の補助率で補助する。(上限450万円)

※対象となる住宅は、①昭和56年3月31日以前に着工した在来工法の木造住宅、②階数2階以下、③自己所有、自己在住のもの、④簡易耐震診断を受けたものなどで、事前の手続きが必要となります。

▼補助金制度を利用した耐震補強工事の主な流れ▼



※主な耐震補強工事

- ・壁に筋違や構造用合板を施工して、壁を強化する。
- ・壁の量を増やし、バランス良く配置する。
- ・土台と柱など接合部分を金物などを使って堅固にする。
- ・腐ったり、シロアリの被害のある部材を取り替える。
- ・布基礎を施工して、土台をアンカーボルトで固定する。

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。また、クイズのご回答もこちらにお寄せください。ハガキや封書、FAXでもお受けします。お名前とご連絡先を忘れずにご記入ください。正解された方の中から抽選で毎月1名の方に、その号に関連したプレゼントをお送りしています。尚、郵送の停止を希望される場合やバックナンバーやお知り合いの方への郵送、カラー版を希望される場合など、ご遠慮なくお申し出ください。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店 宛 TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139